

『グローバル人財のキャリアにつながる日本語とは…』

みなさん、2025年サタラボ幕開けは AATJ(全米日本語教育学会)の前会長、高見智子さんをお招きし、1月11日(土)に懇親会も含め、盛会のままお開きとなりました。智子さんは翌日、ペンシルベニアにお帰りになりましたが、対面サタラボに参加できなかった方のため、2月9日(日)に同内容の on-line サタラボをお願いしました。

高見智子さんは、日本語プログラム・ディレクター、外国語上級講師として米国ペンシルベニア大学で教鞭をとっています。ご著書の『中級から伸ばす:ビジネスケースで学ぶ日本語』をお使いの方も多いかと思います。ちょうど、こちらのサタラボのお知らせと同時期に出版された『PBIによる日本語教育の実践:話す能力を伸ばす授業』の共著者でもあります。世界各国での100を超える学会発表、基調講演、受賞歴など、プロフィールを見ると恐れ多いと感じちゃいそうですが、みなさんにご紹介したい理由のひとつは、そのお人柄でもあります。パワフルにして明るく親しみやすい智子さんを知り合ってください。日本企業に勤めたい学生が1人もいない中、智子さんがどのようにコースデザインしてビジネス日本語を教え、学生に支持されているか…私は昨年韓国の on-line 学会でアメリカのビジネス日本語の実情を聞き、サタラボでみなさんに伝えてほしいと思いました。日本語教育の海外事情もしっかり聞かせてもらいましょう！

智子さん達の最新刊タイトルにあるPBIは、Proficiency-based-instruction(プロフィシエンシー重視教育)の略です。留学生、ビジネスパーソンと日本語学習者も学習の目的や目標とするレベルも多様化していますが、今後の日本語教育が今まで以上に Proficiency(習熟度)を高める方向に進んでいくことは間違いないでしょう。また、『ビジネス日本語』とひとことで言っても、ビジネスパーソンだけでなく、将来のビジネスパーソンである学生を対象にしたキャリアデザインや面接など就職支援的な側面もあり、商習慣などビジネス事情・文化も含まれ、協働や異文化理解、異文化コミュニケーション、クリティカルシンキング、問題解決能力など、社会人としての資質を育成する要素も加わっています。日本語を使いキャリアを積んでいくには、知る、わかるだけでなく、習熟=使いこなせることが求められます。そうであるなら、私たち教師には学習者自身が目指すキャリア構築に活かせる授業が求められます。グループワークではグローバル人財の育成を目標にしたアクティビティを考えましょう。

【講師・高見智子さんからのことば】

念願だったサタラボに登壇させていただくのをとても楽しみにしています。みんなで楽しく、一緒に学び合う、エンパワーメントの時間にしてけたらと思います。よろしく願いいたします。

日時: 2025年2月9日(日)9:00-12:00 開場 8:45 懇親会:12:15-14:00(希望者のみ参加)

会場: zoom

対象者:日本語教師・日本語ボランティア教師&日本語教育関係者、他 (定員:先着40名)

申込フォーム: https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeSiy39PFd-AOUqEcShRRhmwz0EvdprXg6h5_gIiKCqhXPn7g/viewform?usp=dialog

お申し込み後、振込先をお知らせします。お振込完了後、正式にお申し込み受付となります。



参加費: 3,000円 (当日キャンセルの場合はご返金できません) 懇親会費:無料

主催: サタラボ 【代表】 小山暁子

お問い合わせ: satalabo1@gmail.com 【事務局】 伊藤麻友子・森谷智美・渡辺倫弥